

FSBは保険セクターにおける包括的枠組みを歓迎

金融安定理事会（FSB）は、本日、保険監督者国際機構（IAIS）が、2020年の実施に向けて、「保険セクターにおけるシステムリスクのための包括的枠組み」を最終化し、公表したことを歓迎する。

包括的枠組みの概要は以下のとおり。

- **マクロプルーデンスを目的とした強化された監督上の政策措置。**これらの措置は、保険会社に対して適用される継続的な監督上の要件、強化されたマクロプルーデンス監督及び危機管理・計画、そして、潜在的なシステムリスクが認められた場合に、迅速かつ適切な対応を可能にする監督上の介入権限を通じて、保険セクター全体の強靭性を高めるとともに、保険セクターの脆弱性やエクスポージャーがシステムリスクに発展することを抑制するうえで活用するために策定されたものである。監督当局は、マクロプルーデンス上の懸念の性質に基づいて適切に対応できるよう、監督上の裁量によって十分に広範な予防・是正措置を取ることができなければならない。
- **グローバルな保険市場の動向や発展状況を評価し、グローバルな保険セクターにおけるシステムリスクの潜在的な積上りを特定することを目的とした、IAIS によるグローバルなモニタリング活動。**この活動には、特定の活動やエクスポージャーに関するセクター全体の動きから生じる潜在的なシステムリスクや、それらの活動やエクスポージャーから生じる個別の保険会社レベルでの潜在的なシステムリスクの集中（最新の評価手法を使用）に関する IAIS による年次評価が含まれる。
- **潜在的でグローバルなシステムリスクに関する全般的な評価と、必要に応じて協調的な監督上の対応を取ることを可能とするメカニズム。**これらのメカニズムには、個別の保険会社及びセクター全体のレベルで、i) 潜在的なシステムリスクや適切な監督上の対応について、IAIS 全体で議論すること、また、ii) グローバルなシステムリスクに関する IAIS の評価や、（もしあれば）特定されたリスクへの監督上の対応を含め、グローバルなモニタリング活動の結果について FSB へ報告することが含まれる。
- **強化された監督上の政策措置と介入権限の着実な実施についての IAIS による評価。**

FSBは、最終化された包括的枠組みを踏まえ、IAIS及び各国当局と協議のうえ、グローバルなシステム上重要な保険会社（G-SIIs）の特定を、2020年初頭から一時停止することを決定した。

FSB は、2022 年11 月に、当初数年間の包括的枠組みの実施状況に基づき、IAIS 及び各国当局と協議のうえ、年次のG-SIIs の特定を廃止すべきか、再開すべきかを再検討する。

FSB は、グローバルな保険セクターにおけるシステムリスクについてのIAISの評価や、（もしあれば）特定されたリスクへの監督上の対応を含めたグローバルなモニタリング活動の結果に関して、毎年、IAIS から報告を受ける。IAIS は、特定の活動やエクスポージャー

についてのセクター全体の傾向分析に役立てるため、監督当局が行うデータ収集から補完を受けつつ、個別の保険会社からの毎年のデータ収集を継続する。

注記

FSB は、各国金融監督当局及び国際基準設置主体の取組みを国際的水準で調和し、実効的な規制、監督、その他金融の安定に資する政策実施を発展及び促進する。FSB には、24 の国・地域の金融の安定に責任を有する当局と、金融に関する国際機関、業態毎の規制・監督当局の国際団体、中央銀行の専門家委員会が参加している。FSBは、6の地域諮問グループを通じて、他の約70の法域とのアウトリーチも実施している。

FSB の議長はランダル・クオールズ米連邦準備制度理事会副議長、副議長はクラス・クノット オランダ中央銀行総裁であり、事務局はスイスのバーゼルの国際決済銀行内に置かれている。

FSB についての詳細は、FSB のウェブサイト参照されたい。